

令和 8 年 度

事 業 計 画 書



社 会 福 祉 法 人 聖 風 会

社会福祉法人の定義

社会福祉法人聖風会は、社会福祉法人とは、以下のような存在でなければならないと考えています。

- 一、社会福祉法人は、質の高いサービスの提供と、その担い手である人材の育成をやり続けなければならない。
- 一、社会福祉法人は、事業継続のために必要な収益を確保しながらも、非営利の姿勢を貫かなければならない。
- 一、社会福祉法人は、地域の中の存在として、常に地域との連携を図り、地域住民の生活を支援しなければならない。
- 一、社会福祉法人は、制度の有無にかかわらず、すべての社会的弱者を積極的に受け入れ、手を差し伸べ、社会に安心を提供しなければならない。

法 人 理 念

最高に価値あるものをすべての人に
～地域に信頼される施設を目指して～

経 営 理 念

< 私たちが目標とすること >

- ☆地域に貢献する総合福祉事業の展開
- ☆卓越したケアサービスによる顧客満足
- ☆効果・効率を考えた弛まぬ業務改善

運 営 理 念

< 私たちが大切にしていること >

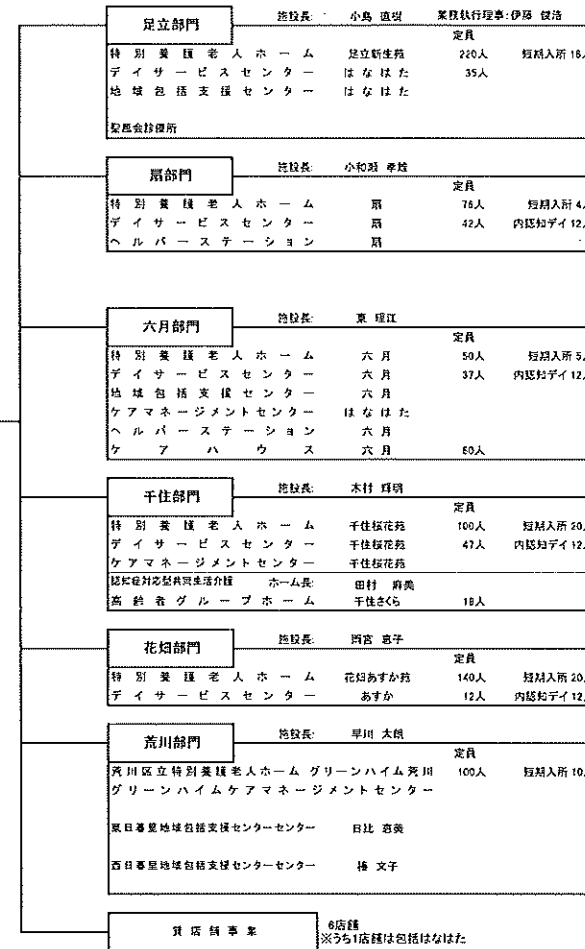
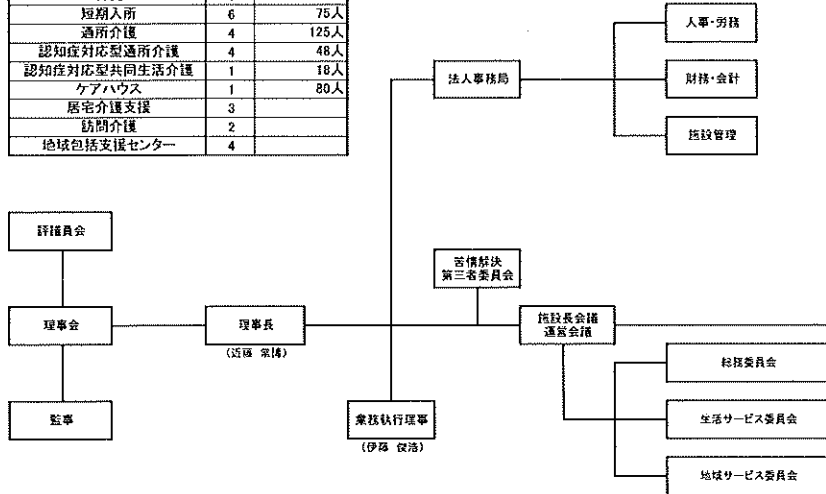
- ☆相手の立場で見る・聴く・考える
- ☆相手の笑顔・自分の笑顔
- ☆その人がその人らしく生きること

目 次

法	人	本	部	・	・	・	・	・	02
職	種	委	員	・	・	・	・	・	06
足	立	部	門	・	・	・	・	・	12
扇		部	門	・	・	・	・	・	18
六	月	部	門	・	・	・	・	・	25
千	住	部	門	・	・	・	・	・	35
花	畑	部	門	・	・	・	・	・	43
荒	川	部	門	・	・	・	・	・	48

社会福祉法人 聖風会 組織図

事業種別	事業数	利用定員
特養	6	686人
短期入所	6	75人
通所介護	4	125人
認知症対応型通所介護	4	48人
認知症対応型共同生活介護	1	18人
ケアハウス	1	80人
居宅介護支援	3	
訪問介護	2	
地域包括支援センター	4	



【本部事務局】

《人事 財務 会計管理》

《令和8年度計画》

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	支援留学生、在留資格「特定技能」などの受入れを日本語学校、養成校と連携を図りながら行い、計画的に採用人数を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援留学生については、4名～5名の受入れを行う。 ・在留資格「特定技能」については秋口に人数を確定する。 		
②	介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業の取得を遅延なく行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長会議、総務委員会と連携し、取得要件、上乘せ要件など不備の無い申請書類作成と手続きを行う。 		
③	7月のサーバー更新に合わせ DX 化を推進。DX 推進プロジェクトと連携し、スマート大臣の導入によりペーパーレス化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・下期運用を目標に、給与明細、年末調整のペーパーレス化による業務省力化を推進する。 		
④				

《部門特記事項》

《施設 サービス 管理》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	計画的な建物の予防保全（継続）	・扇、新生苑別館(1)、六月の大規模改修工事計画に基づき、各段階で必要な業務支援を遅滞なく確実に実施する。		
②	支援業務の DX 推進の一環として、生成 AI ツールの活用を進める。	・法人の DX 推進プロジェクト担当として昨年度は生成 AI の導入を行ったが、今年度は導入ツールの解像度を上げ、現場の課題と直結させる具体的な活用法を確立する。		
③	情報セキュリティポリシーの運用	・生成 AI とマイクロラーニングの活用により、職員負担を最小限に抑えた教育の効率化を推進し、セキュリティポリシー遵守およびリスク管理意識を定着させる。		
④	サーバー更新における安定稼働とリスク管理の徹底	・7月のサーバー更新において、情報セキュリティ事故の防止および業務への影響を最小限に留めるため、ベンダーと連携し、リスク対策を含めた詳細な工程管理を行う。		

令和8年度

《年間予算表》 法人本部

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
他の社会福祉事業(法人本部)			432,775,000			0.0%				0.0%	****		0
収入合計(1)			432,775,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			16,441,000			0.0%				0.0%	****		0
事業費支出			80,000			0.0%				0.0%	****		0
事務費支出			396,536,000			0.0%				0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0	0	0	****	0	0		****	****		0
支払利息支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
その他の支出			274,000			0.0%				0.0%	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****	0	0		****	****		0
固定資産取得支出			0			****	0			****	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			74,000			0.0%				0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			31,000	0	0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
長期貸付金支出			15,372,000			0.0%				0.0%	****		0
積立資産支出			9,842,000			0.0%				0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間繰入金支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
その他の活動による支出			284,000		0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
支出合計(2)			438,934,000		0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			-6,159,000		0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
前期末支払資金残高			202,408,528										
当期末支払資金残高			196,249,528										

《特記事項》

- ※ 収入のうち、30,050,000円は、東京都宿舍借上支援助成金であり、356,665,000円は、足立区より受託事業収入として扇拠点大規模改修工事費用の1/3額が含まれる。
- ※ 収入のうち、5,632,000円は、職員の留学生時代の奨学貸付金返済の入金額。
- ※ 事務費収入のうち、356,665,000円は、扇拠点大規模改修工事費用1/3年目額。
- ※ 事務費収入のうち、29,740,000円は、東京都宿舍借上支援助成金対象の家賃。
- ※ 長期貸付金支出の内訳は、留学生の生活資金貸付金・専門学校の学費。

令和8年度

《年間予算表》 貸店舗

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
貸店舗		店舗6	16,078,000			0.0%				0.0%	****		0
収入合計(1)			16,078,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			3,500,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			0			****	0			****	****		0
事務費支出			1,609,000			0.0%				0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0		0	****	0	0		****	****		0
支払利息支出			0		0	****	0	0		****	****		0
その他の支出			1,086,000		0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0		0	****	0	0		****	****		0
固定資産取得支出			0		0	****	0	0		****	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			11,000			0.0%				0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0		0	****	0	0		****	****		0
長期貸付金支出			0		0	****	0	0		****	****		0
積立資産支出			0		0	****	0	0		****	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0		0	****	0	0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			9,500,000			0.0%				0.0%	****		0
拠点区分間繰入金支出			0		0	****	0	0		****	****		0
その他の活動による支出			34,000		0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
支出合計(2)			15,740,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			338,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
前期末支払資金残高			3,209,379										
当期末支払資金残高			3,547,379										

《特記事項》

※

※

【令和8年度 職種別を中心とする横断委員会】

	名 称	責任者	開催日	時 間
1	総務委員会	伊藤俊浩 雨宮恵子	第4金曜日/月 1月、6月、10月は第4火曜日 施設長合同で開催	15:30~18:00 09:30~11:00
2	生活サービス委員会 ・特養マネジメント ・介護 ・看護 ・管理栄養士 ・機能訓練	小島直樹 雨宮恵子 小和瀬孝雄	第2火曜日/毎月 ・第3火曜日/毎月 ・第2水曜日/毎月 ・第3月曜日/年4回(5月/8月/11月/2月開催) ・第4水曜日/年4回(5月/8月/11月/2月開催) ・第3水曜日/年4回(5月/8月/11月/2月開催)	15:00~18:00 15:00~18:00 16:00~18:00 16:00~18:00 16:00~18:00
3	地域サービス委員会 ・デイサービス委員会 ・ケアマネジメントセンター委員会 ・ショートステイ委員会 ・ホームヘルパー委員会 (ケアハウス・グループホーム・地域包括)	木村輝明 東理江 早川太朗	第2火曜日/毎月 ・第3金曜日/毎月 ・第4金曜日/年4回(5月/8月/11月/2月開催) ・第3月曜日/年2回(5月/10月開催) ・第4月曜日/年4回(5月/8月/11月/2月開催) ・必要時に開催	16:00~18:00 16:00~18:00 16:00~18:00 10:00~12:00 10:00~12:00 適時

【個人情報保護の内部監査、研修について】(担当：東施設長)

- ・年1回所定のチェック表を用い、全部門の個人情報保護の取扱いを確認。
- ・年1回全職員を対象に情報漏洩のリスクや適切な情報管理について小テストなどで確認。

【職種別横断委員会】

《総務委員会》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	運営会議の参加により、定期的に会計事務所、施設長と施設毎の課題整理と課題解決に向けた検討を行う場を設ける。	・6月、10月、1月の年3回、決算、半期、予算それぞれの時期に運営会議に参加。参加月に応じた課題の検討を行う。		
②	介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業の取得を遅延なく行う。	・法人事務局と連携し、取得要件、上乘せ要件など不備の無い資料作成を行う。		
③	物価高騰が続くことが予想されるため、補助金の有無確認と遅延の無い申請手続きを行う。	・東京都、各区(足立、荒川)の補助金情報の収集と、申請手続きを行う。		
④				

【職種別横断委員会】

《生活サービス委員会》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	生産性向上に資する取り組みや現場の業務改善を通じて、利用者一人ひとりに質の高いケアを提供し、満足度の向上と安全・安心な生活環境の実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠に基づくケアを実践、定期評価とPDCAで質を高め続ける。 ・ADL・栄養・認知機能を多面的に評価し、ケアプランを作成。 ・記録の分析力を強化し、データを活用した質の高いケアを推進。 ・内部監査に質的な評価尺度を導入し、ケアの質を客観的に評価。 		
②	全職員を対象に、基礎から専門まで体系的な研修やOJTを実施し、専門性とチーム力を高めることで、やりがいと成長を実感できる職場づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアに応じた階層別研修の充実、外部研修やeラーニングを活用し、最新知識・技術の習得。 ・新任トレーナーの指導方法を標準化し、OJT体制を強化。 ・多職種連携やチームケア推進のための合同研修を実施。 ・外国人介護人材の成長と活躍を支援する研修を展開し、多様性を活かした職場づくりを推進。 		

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
③	安定した経営基盤確立のため、利用率の向上・収支改善・業務効率化を図り、持続可能な運営体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ニーズに応じた質の高い短期入所サービスの利用促進により、施設入所者数の増加を目指す。 ・SNSを活用した積極的な情報発信と、安心できる相談体制を整備。 ・利用率をモニタリングし、収支状況の分析と経費削減策を提案する。 ・DX推進による業務効率化、生産性向上と経営の安定化を実現する。 		
④	地域包括ケアの一翼を担う拠点として、地域住民や関係機関と連携し、地域福祉の向上に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の多職種連携会議へ積極的に参加し、地域との繋がりを強化。 ・地域住民向けの介護予防教室を開催し、健康づくりと介護予防を支援する。 ・地域行事への積極的な参加とボランティアの創出・受け入れを通じて、地域との交流を深める。 ・地域包括支援センターや医療機関との情報共有・連携を強化し、地域全体の福祉向上に貢献する。 		

【職種別横断委員会】

《地域サービス委員会》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	地域ニーズに直結したシームレスな支援体制の確立	・各サービスが対等な立場で連携し、利用者のニーズや状態変化に応じたサービス移行や併用を円滑化する体制を構築する。各サービスが接点で収集した潜在的ニーズを本体委員会へ集約し、地域包括ケアの先駆的モデルとして具体的な連携実績や新規施策への反映数を評価する。		
②	成長実感と適切な処遇を支える人材育成の推進	・人事制度に基づき、「対話と伴走支援型」のキャリア面談を通し、職員の行動変容を促進する。職責に見合った給与的メリットの強化や、地域で高水準の報酬体系の整備に向けた適正運用を完遂し、職員の定着率と専門職としての誇りの醸成を評価する。		

《地域サービス委員会》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
③	小委員会による事業計画の遂行と連携の強化	・現場責任者を各小委員長に擁立し、実務における事業計画の遂行と「ミクロな目標設定・進行管理」を主導することで、自律型マネジメントを促進する。小委員会は本体である地域サービス委員会と緊密に連携し、各事業所の事業計画の達成に向けた現場運営に注力する。		
④	DX による生産性向上と内部監査による品質管理	・介護支援ソフト『絆』のクラウド運用を開始し、モバイル記録の活用等により事務時間を削減して直接援助時間を最大化する。また、年1回の内部監査を確実に執行し、「聖風会スタンダード」を構築・浸透させることで、各事業所におけるサービスの質の標準化と透明性を組織的に担保する。		

【足立部門】

《総務課》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	別館(1)の改修工事を実施予定である。併せて、本館および別館(2)についても、老朽化に伴う建物や設備機器の修繕を計画的に進める。	・物価高騰による食材料費、光熱水費、業務委託料の上昇を考慮し、利用率や収支状況を把握したうえで、法人管理課と連携しながら計画的に対応する。		
②	ハローワーク、人材紹介会社、求人媒体を活用し、人材確保と職員定着を法人および各部署と協力して進める。	・雇用機会を逃さないよう、応募や紹介には迅速に対応する。また、採用後は職員の定着に向けてフォローを行う。		
③	利用者の生活環境の向上と、職員が働きやすい職場環境の整備を目指す。	・設備改修を実施するとともに、清潔で快適に過ごせる環境を維持するため、5S活動を推進する。		

《部門特記事項》

- ① 別館(1)改修工事 見込工事費 209,320,000円(うち補助金 119,200,000円)
- ② 別館(1)、(2)改修工費用資金積立て積立予定額 20,000,000円

令和8年度

《年間予算表》足立部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(従来型)	220	95.0%	1,042,508,000			0.0%					0.0%		****		0
短期入所生活介護	16	93.0%	76,832,000			0.0%					0.0%		****		0
通所介護	35	80.0%	105,590,000			0.0%					0.0%		****		0
認知症対応型通所介護			0		0	****		0			****		****		0
地域包括支援センター			62,894,000			0.0%					0.0%		****		0
収入合計(1)			1,287,824,000	0	0	0.0%	0	0		0	0.0%		****	0	0
人件費支出			856,751,000			0.0%					0.0%		****		0
事業費支出			200,939,000			0.0%					0.0%		****		0
事務費支出			165,056,000			0.0%					0.0%		****		0
利用者負担軽減額			1,176,000			0.0%					0.0%		****		0
支払利息支出			0	0	0	****	0	0			****		****		0
その他の支出			3,420,000			0.0%					0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****	0	0			****		****		0
固定資産取得支出			11,621,000			0.0%					0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,985,000			0.0%					0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			477,000			0.0%					0.0%		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****	0	0			****		****		0
積立資産支出			28,676,000			0.0%					0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0			****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0			****		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****	0	0			****		****		0
拠点区分間繰入金支出			9,920,000		0	0.0%	0	0			0.0%		****		0
その他の活動による支出			1,489,000	0	0	0.0%	0	0			0.0%		****		0
支出合計(2)			1,282,510,000		0	0.0%	0	0		0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			5,314,000	0	0	0.0%	0	0		0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			706,944,451												
当期末支払資金残高			712,258,451												

《特記事項》

- ※ 東京都経営支援補助金収入 6,292,000円、東京都居住支援特別手当事業補助金 19,182,000円、東京都物価高騰緊急対策支援金 7,406,000円予算計上
- ※ 別館改修工費用資金積立額 20,000,000円予算計上
- ※ 別館(1)改修工事「設計料」 7,854,000円予算計上

【足立部門】

《特別養護老人ホーム 足立新生苑》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	職員の定着率の安定と後進育成を意識した各層のマネジメント力向上。	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーナーの育成強化。 ・育成計画の明確化と実施。 ・特定技能職員の計画的な育成。 ・マネジメントに関する研修参加。 		
②	利用率95%を目標とし、収支の安定化とサービス向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・SS相談員業務と協働の継続。 ・退院日数軽減のため、医療機関や家族へ退院の可能性を探る。 ・医療機関との話し合い実施 		
③	更なる職員の残業削減を目指し、心身ともに健やかに働ける職場環境の実現に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務表管理、フロア格差の是正。 ・フロア課題を役職者は把握し、優先業務を適宜検討、変更する。 ・職員が意見を出しやすい環境。 		
④	＜機能訓練＞ リハビリを通して、利用者の健康維持と生活の質向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の整備・更なるシーティング等強化。 ・DAM体操等の継続と運動機会を増やす。 ・セラピスト間・介護の連携強化。 		

《特別養護老人ホーム 足立新生苑》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	<p><看護> 施設で長く生活が送れるように、質の高い医療と、利用者・家族が満足できるサービスを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境をつくり、スムーズな情報共有と課題解決。 ・医療知識習得と人材育成強化。 ・利用者と関係を構築し安心できる看取り支援につなげる。 		
⑥	<p><栄養> 献立のバリエーションを増やし、食事満足度の向上に繋げる。 食材費の均一化により食事の質の維持・向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見を反映した献立作成や、洋食・中華など提供頻度が少なかったメニューを増やす。 ・食材費を適正化、定期的な見直しを行う。 		
⑦	<p><短期入所生活介護> ニーズに合わせた目標の設定や支援を行う事で、ご利用者やご家族の満足度の向上を目指し、平均利用率93%を目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズや状態に合わせた柔軟な受け入れを行う。 ・ユニット会議等を通して職員間での課題や目標を共有する。 		
⑧				

【足立部門】

《デイサービスセンターはなはた 一般》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営 年間平均利用率80%、利用者登録人数は一般80名・総合事業10名を目標とし、事業運営の安定化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度者や対応困難者、総合事業利用者の柔軟な受け入れを実施する。 ・職員配置を安定させ、中重度者ケア体制加算を安定的に算定する。 		
②	サービスの向上 専門性を高め、各活動の意義や目的を理解し、発信しながら提供することで、サービスの質を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各会議の効率性と質の向上。 ・各活動グループで2か月に1回内容を評価し、身体機能維持や認知症予防を図るサービスを提供する。 		
③	人材育成 職員のスキルアップ、観察力、対応力、見守り力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な内部研修を実施し、外部研修への積極的参加を促す。 ・月1回実施するケース検討会議の結果を共有し、ケアの統一化とPDCAサイクルを回す。 		
④	地域貢献 地域サービス事業（介護保険外）を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に向けた来食サービスやクローバー大学を継続する。 ・昨年度実施した地域住民向け運動イベントを継続的に計画、実施。 		

【足立部門】

《足立区地域包括支援センターはなはた》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	3職種の複数配置を含め、安定した職員体制を維持・継続。各職員には専門性等、キャリアに応じた事業担当を割り当て、運営効果を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・全業務および虐待・支援困難ケースの担当を可視化し、業務バランスの偏在を防ぎ、相互協力を促進。 ・第一希望の事業を主担当とする。 		
②	身寄りのない単身高齢者による金銭管理の困難や保証人問題、安否確認が地域課題であるため、適切な制度やサービスを学ぶ機会を多く提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・身寄りなし単身高齢者との接点を増やす為、都営・UR団地との共催等で老い支度企画を年3回設ける。 ・60代以下に向けて「じぶんノート」の啓発を行う。 		
③	絆のあんしん協力員と協力機関との協働により、特に周縁地域（花畑1～3丁目および花畑6～8丁目）を活性化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・協力員等と協働し、周縁地域において集いの場を2か所以上創出。 ・各種教室やイベントは、周縁地域のニーズをヒアリングし、企画。 		
④	フレイル予防の普及啓発を促進するため、足立区LINE公式アカウント「あだち脳活ラボ」の登録支援数を前年度比200%増を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・「あだち脳活ラボ」の登録支援を、介護予防教室で2回以上開催する。 ・総合相談や実態把握訪問において、機会を捉えて登録支援を行う。 		

【扇部門】

《総務課》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	大規模改修工事における施設全体の円滑な運用管理。	・各部署が混乱なく動けるよう、施工業者と現場の調整役となり、スムーズに機能する運用体制を整え、実行する。		
②	財務基盤の強化へ向けた取り組み。	・経営状況の把握とその分析を月次報告に基づき行い、スタッフ会議にて共有・検討しながら収支バランスを図っていく。		
③	整理・整頓を徹底しサービスの品質向上を目指す。	・整理、整頓、清潔、清掃の不徹底が原因で、介護サービスが低下することの無いように、役職者を中心に施設全体で4Sを推進していく。		

《部門特記事項》

令和8年度

《年間予算表》 扇部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(従来型)	76	96.0%	367,359,000			0.0%					0.0%		****		0
短期入所生活介護	4	130.0%	25,353,000			0.0%					0.0%		****		0
通所介護	30	77.0%	78,308,000			0.0%					0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	60.0%	37,750,000			0.0%					0.0%		****		0
訪問介護(高齢)		30名	12,986,000			0.0%					0.0%		****		0
地域包括支援センター			0			#DIV/0!					#DIV/0!		****		0
収入合計(1)			521,756,000	0		0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			336,704,000			0.0%					0.0%		****		0
事業費支出			92,615,000			0.0%					0.0%		****		0
事務費支出			76,688,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			174,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
その他の支出			1,746,000			0.0%					0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****		0	0		****		****		0
固定資産取得支出			1,436,000			0.0%		0			0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,005,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			252,000	0	0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			3,528,000			0.0%					0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			1,200,000	0	0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			4,892,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
支出合計(2)			521,240,000		0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			516,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			141,156,457												
当期末支払資金残高			141,672,457						0						

《特記事項》

※

※

【扇部門】

《特別養護老人ホーム扇》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	特養 96%、ショートステイ 130%を目標利用率として、安定した経営基盤とする。	・常時、2名以上の待機者を確保し、退所後 2 週間以内での入所に繋げる。入院ベッドをショートステイで活用。居室調整を行い、積極的に緊急ショートを受けていく。		
②	知識、技術の向上を図り、ケアの質を高める。	・リーダー層の能力向上の為、研修の受講、実施を計画。生活機能向上委員会で学びの機会を設けると共に意見交換の場とする。		
③	食材高騰の状況を見ながら、美味しく、楽しみが持てる食事を提供する。	・日々の献立の工夫、祭事メニュー等ご利用者のニーズをくみ取った食事提供を行う。		

《特別養護老人ホーム扇》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
④	防災の知識・技術を習得し、自衛消防を強化。	・防災委員を中心に、定期的な訓練の実施とマニュアルの確認、修正を行う。		
⑤	ケアマネジメントの適切な管理を行う。	・兼任のケアマネを中心としたケアプランの管理。 ・役職者のケアプランへの理解を深め、PDCAサイクルが円滑に進むようにする。		
⑥	生活動作を利用しての身体機能維持と更なる機能向上を目指す。	・生活の中で介護・看護・リハビリ職員が協力しあい、機能向上に繋がる動作(生活リハ)を実施していく。		

【扇部門】

《デイサービスセンター扇 一般》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を目指し、登録率90%以上（1日:27名以上）平均利用率77%（23.1名）総合事業・要介護の合計登録者90名以上を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーと情報共有を持てるようこまめに連絡をとる。 ・Xやパンフレットの媒体活用。 ・利用者アンケートを実施。 ・LIFE加算の実施。 ・ワンデいの希望など即対応する。 		
②	自立支援に向けた、適切で満足度の高い個別ケアサービスの実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の意向を踏まえ、プラン作成は「絆」を活用していく。 ・スキルアップ研修の実施と報告。 ・利用者希望による外出活動（買い物・散策）を実施する。 		
③	サービスの質の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修実施の計画を年間予定に組み込み、実施していく。 ・分からないことは職員間で確認しあえる『伝え愛』をモットーに職場風土を円滑にする。 		

【扇部門】

《デイサービスセンター扇 認知》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を目指し、平均利用率 60% (7.2 名) 登録者 30 名以上を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネジャーと情報共有を持てるよう綿密に連絡調整を図る。 ・ Xやパンフレットの媒体活用 ・ 利用者アンケートを実施。 ・ LIFE 加算の実施。 ・ ワンデイの希望など即対応する。 		
②	在宅生活の継続を目的とし、認知症症状の悪化を防ぎつつ現状の維持に繋げる支援や活動の提供をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅での様子を大切に活動提供を進める。 ・ 利用者に落ち着いて過ごして頂くように活動室を穏やかな雰囲気を保つ。 		
③	サービスの質の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な介護技術の研修に加え、認知症対応に特化した研修と必須研修の計画的実施を行う。 		

【扇部門】

《ヘルパーステーション扇》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営を目指す。	・新たな顧客を獲得するためにケアマネジャーと情報共有を持てるようにこまめに連絡をとる。		
②	ヘルパーの確保と定着を図る。	・採用活動の継続・適切な労働条件の確保と改善(六月と協議)。 ・ヘルパーの現状(高齢化など)を考慮したコーディネートを実施。		
③	施設全体研修やスキルアップを目的にした研修、必須研修など実施する。	・法人内合同研修(年5回)、感染症、個人情報等の全体研修を予定。状況に応じ集合型研修やテキストによる個人研修の実施。		
④	感染症や災害発生時の対応を適切に行い事業の継続、安心・安全なサービスを提供に心掛ける。	・感染症予防策マニュアルの整備。 ・BCPに沿った研修、運連の実施。 ・緊急時持出しファイルの再確認(更新・見直し)の実施。		

【六月部門】

《総務課》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	新体制の再構築と総務課全体の機能強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担の明確化。 ・連携強化による定例ミーティングの開催。 ・サービス部門との連携による円滑な事業運営と効率の向上。 		
②	令和10年の大規模改修工事に向けての計画と設備管理。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の課題や改善点を抽出。 ・足立区と協議し要望をまとめる。 ・大規模改修工事を見据えての修繕や物品購入。 		
③	安定した事業運営 収支状況により必要に応じて執行計画の見直しを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議での月次報告。収支差額や利用率等を共有。 ・備品・物品購入の最適化及び適切な修理修繕による費用削減。 		

《部門特記事項》

令和8年度

《年間予算表》六月部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(従来型)	50	95.0%	243,831,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	5	100.0%	26,311,000			0.0%			0		0.0%		****		0
通所介護	25	84.0%	73,823,000			0.0%			0		0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	65.0%	38,485,000			0.0%			0		0.0%		****		0
居宅介護支援事業			45,594,000			0.0%			0		0.0%		****		0
訪問介護(高齢)			40,738,000			0.0%			0		0.0%		****		0
訪問介護(障がい)			1,097,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ケアハウス	80	75.0%	158,436,000			0.0%			0		0.0%		****		0
地域包括支援センター			74,137,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			702,452,000	0	0	0.0%			0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			414,522,000			0.0%					0.0%		****		0
事業費支出			117,346,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			150,610,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			540,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
その他の支出			2,002,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	0.0%		0	0		****		****		0
固定資産取得支出			2,049,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,912,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			289,000	0	0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			3,960,000			0.0%					0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			4,624,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
支出合計(2)			698,854,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			3,598,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			157,679,918						0						
当期末支払資金残高			161,277,918						0						

《特記事項》

※

※

【六月部門】

《特別養護老人ホーム六月》

〈令和 8 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率 95% 入院長期化を防止、迅速な入所。 職員相互の関係性の構築を深める。	・入院平均 40 日以内。病院相談員・ 家族と密な連絡で入院長期化防止。 ・新入所受入れを 5 日以内に実施。 ・フロア会議やサイボウズを活用 し利用者の課題に迅速に対応。		
②	利用者の安全向上と住みやすさ、職 員の業務効率化と負担軽減。	・無線式ナースコールの導入と円 滑で安全な更新工事。 ・令和 10 年度大規模改修工事に向 けて、内部環境整備の計画と準備。		
③	利用者の生活をより豊かにケアプ ランの見直し、行事等の実施。	・利用者個々の思いを叶えるよう に年間で計画し実施。 ・活動及び傾聴ボランティア、慰問 (1~2 ヶ月に一回) の受入れ拡大。		
④	個別の健康維持、感染症対応等リス ク管理を迅速に対応	・体調変化等に対して早期にチー ムで検討し対応に取り組む。 ・感染症予防対策の徹底と対応。 ・介護職員への緊急時対応指導。		

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	安楽に食事、栄養が摂取できるように支援する。 嚥下困難者への適切な対応を行う。	・適切な食形態への変更が適切に行えるようにする。 ・安全と見た目の良さを兼ねそなえた食事の提供。		
⑥	短期入所生活介護 利用率目標 100% (特養空床利用を含む)	・平均利用日数が増加するよう、本人、家族、居宅に働きかける。 ・長期利用者の積極的な受入れを行政機関、包括、居宅に働きかける。 ・空き情報を毎月居宅に FAX する。		
⑦	短期入所利用者の個別支援計画、モニタリング等の見直しと実践。	・個人にあった生活ニーズを日課に組み込んで確実に実施する。 ・居宅ケアプランと連動した内容で個別支援計画を実施する。		
⑧	併設事業のメリットを活かした広報活動。	・併設の通所介護、訪問介護、居宅介護支援、ケアハウスと連携してサービス内容を互いに情報共有する。 ・サイボウズを活用して空床状況を発信、利用増加に繋げる。		

【六月部門】

《デイサービスセンター六月 一般》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率 84% 定員 25 名に対して、毎日 20 人以上の割合での利用者を維持できるように登録数を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要望へスピードある対応をケアマネにアピールする。 ・ 毎月のモニタリング結果報告の内容を充実させる。 		
②	活動内容の見直しを図り、集客に繋げていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常プログラムの見直しを図り、マンネリ化を改善する。 ・ 生活リハビリの習慣化により個別対応を充実させる。 		
③	要望にあった行事の開催。 利用者懇談会の結果を元に行事等を企画し、ボランティアの積極的な受け入れ活動をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別計画に基づいた外出行事の実施継続。 ・ 地域との交流機会を増やす。 ・ 移動販売や理美容の活用。 		
④	介護保険制度に合わせた事業内容の実施。加算要件や自主点検表に基づく体制の整備。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通所介護 BCP に基づいた訓練の実施。 ・ LIFE 活用（フィードバック活用） ・ 内部監査の結果による修正等。 		

【六月部門】

《デイサービスセンター六月 認知》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率65% 定員12名に対して、毎日7.8人以上の割合での利用者を維持できるように登録数を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の利用者状況の把握し、一般デイからの移行を計画的に行う。 ・個別ケアの強化と関係者への報告、PRを実施する。 		
②	横断委員会の小委員会で得た情報や様式例を活用して、個別ケアの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別モニタリングの内容を見直し、一般デイ等の差別化を図る。 ・日常生活動作に着目し、活動プログラムに取り入れる。 		
③	地域に向けた取組を継続し、地域との交流機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の運営推進会議の活用。 ・ボランティアの積極的な受入れ ・地域に向けた事業内容の発信。 ・外出等を通じて地域に出かける。 		
④	介護保険制度に合わせた事業内容の実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護 BCP に基づいた訓練実施。 ・LIFE の活用（フィードバック活用）。 ・内部監査結果に基づいた書類等の修正、整備。 		

【六月部門】

《足立区ケアハウス六月》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率 75%達成と維持① 施設の存在を PR し利用希望者を増やす。	・新規 HP 作成と運用。利用希望者に向け情報発信し入所に繋げる。 ・通年募集のメリットを活かし入居者が途切れない様案内をする。		
②	目標利用率 85%達成と維持② 住み慣れた場所で出来るだけ長く生活できる様に支援する。	・日頃の様子観察で適切なタイミングで介護、医療サービスに繋がられる様、関係者と連携を図る。 ・包括職員との連携強化。		
③	介護予防、生きがい活動の拡充 外部ボラ、包括支援センター他、社会資源の活用。	・健康体操、包括協賛事業の継続 ・季節の催し、クラブ活動の支援、ボランティアサービスを活用し楽しんでいただける機会を作る。		
④	地域ニーズの把握と貢献 地域の情報やニーズを把握し地域とのつながりを持つ。	・絆のあんしん連絡会継続参加によるニーズ把握と実施検討。 ・包括や行政との情報交換や連携。 ・六月祭で地域向け入所説明会開催。		

【六月部門】

《ケアマネージメントセンターはなはた》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	ケアプラン作成件数 39/1 人 安定した事業運営と地域からの要望に応じることが出来るよう、事業体制と新規依頼件数を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定加算Ⅱ維持。 ・ 職員6名体制を目指していく。 ・ 医療機関からの紹介や支援困難ケースを率先して受託する。 		
②	職員育成 基礎知識のばらつきや差が生じないよう、研修機会の確保とケアプラン点検を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別研修計画に沿った研修受講(1人4回/年)。 ・ 月一回のケアプラン点検を行いプランの質を維持する。 		
③	業務効率の推進 ICT ツールを積極的に活用し、ケアマネ業務の生産性を向上する。外部連携の迅速化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ データ連携システム導入と活用。 ・ MCS 活用による他機関連携深化。 ・ AI ツール活用により定型事務の効率化。 		
④	地域との関係構築 地域住民、関係機関との関係性を深め、地域から信頼される事業所を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括事業で開催される地域交流会の場に参画していく。 ・ 職能団体の活動を通じて、地域交流機会を作っていく。 		

【六月部門】

《ヘルパーステーション六月》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標稼働率70%。1日の訪問件数40件、サービス提供責任者1人当たり25名（上限40名）を維持する。障害福祉（居宅介護）の受け入れ維持。	・居宅支援事業者への働きかけをパンフレット、ヘルパー空き情報を持って訪問し、新規利用を獲得する。		
②	介護保険の事業所加算（Ⅱ）又は（Ⅳ）（Ⅴ）を満たしているため、算定申請の精査作業に入る。 障害福祉サービスの処遇改善加算算定申請の精査作業に入る。	・介護保険・障害福祉サービス共必要書類、要件が適切かどうか確認する。		
③	新規獲得に耐えられる職員の育成。 ヘルパーの研修の充実。 介護保険内容の自主点検の継続。	・研修の充実と体験型研修を導入し、ヘルパーが参加できる会議の機会をより多く設定する。 ・6か月に1度記録必要書類に漏れがないか点検の実施		
④	地域の方に情報の発信。	・6か月に1度ヘルパーステーションだよりを利用者向けに発行。 （軌道に乗れば年4回に増回する）		

【六月部門】

《足立区地域包括支援センター六月》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	総合相談支援事業において、実態把握訪問を月 140 件程度実施し、区民の方々に必要な情報を提供、状態の確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問対象者の状態把握及び介護予防事業への勧奨を行う。 ・認知症状等が感じられる方に受診勧奨や受診支援を行う。 		
②	高齢者の心身状態の維持及び介護予防への取り組みを推進するため、介護予防事業への参加勧奨を行う。また自主グループ活動の立上げ支援、継続支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「パークで筋トレ」「みんなで元気アップ教室」等の参加勧奨を行う。 ・自主グループ活動が継続できるよう運営への助言を行う。 		
③	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業において、介護支援専門員や介護・医療関係者との定期的な交流会や研修会、相談サポートを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員対象に地域ケアネットワーク研修会、医療関係者を対象に多職種連携研修会、地域ケア会議の開催を行う。 		
④	高齢者虐待事例や多くの生活課題を抱えた生活困難事例に対して尊厳ある生活が維持・継続できるよう権利擁護支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待通報事例への全件対応とその解消。 ・成年後見制度の活用相談、申立て支援実施。 		

【千住部門】

《総務課》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	建物や設備の安全を維持するために、耐用年数超過、経年劣化による設備機器、備品等の交換、修繕を計画的に進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・設備、備品を適切に管理し、法令を遵守しつつ、緊急性の高いものから速やかに修繕等の対応を行う。 ・令和9年度の実施予定の大規模改修の計画を策定。 		
②	安定した事業運営のために、各サービスの適正人員と収益を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月各サービスの運営状況を各部門と共有(利用率・収支・勤怠)。 ・適切な人員補充と人材の確保。 		
③	3S(整理・整頓・清掃)と3M(ムリ・ムダ・ムラ)改善に取り組み生産性向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所や倉庫の3S活動を実施し職場環境を整備。 ・3Mに関して部門内会議にて確認共有し改善の取り組みを実施。 		
	災害や感染症による有事に対応した事業継続ができるよう備える。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害及び感染症BCPに則し訓練の実施と備品や備蓄の管理。 		

《部門特記事項》

- ① 1階正面玄関自動ドア装置交換：見込額1,410,000円
- ② 消防用設備更新：見込額5,000,000円 実施予定

令和8年度

《年間予算表》千住部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(新型)	100	96.0%	588,483,000			0.0%		0			0.0%		****		0
短期入所生活介護	20	88.0%	106,494,000			0.0%		0			0.0%		****		0
通所介護	35	85.0%	102,785,000			0.0%		0			0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	81.0%	49,536,000			0.0%		0			0.0%		****		0
居宅介護支援事業		294件	62,326,000			0.0%		0			0.0%		****		0
グループホーム	18	98.0%	100,965,000			0.0%		0			0.0%		****		0
収入合計(1)			1,010,589,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			682,958,000			0.0%		0			0.0%		****		0
事業費支出			127,590,000			0.0%		0			0.0%		****		0
事務費支出			131,803,000			0.0%		0			0.0%		****		0
利用者負担軽減額			352,000			0.0%		0			0.0%		****		0
支払利息支出			1,039,000			0.0%		0			0.0%		****		0
その他の支出			3,828,000			0.0%		0			0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			46,360,000			0.0%		0			0.0%		****		0
固定資産取得支出			6,120,000			0.0%		0			0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,152,000			0.0%		0			0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			337,000	0	0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			4,568,000			0.0%		0			0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			500,000			0.0%		0			0.0%		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			1,646,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			1,336,000	0	0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
支出合計(2)			1,010,589,000		0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			0	0	0	****		0	0	0	****		****	0	0
前期末支払資金残高			239,354,642					0							
当期末支払資金残高			239,354,642					0							

《特記事項》

※

【千住部門】

《特別養護老人ホーム 千住桜花苑》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のため、適正な収益を確保する（特養単体利用率目標：96%）。	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種協働によるケアチェックとミールラウンドの実施による入院日数削減。 ・退所後の空床入所日数の短縮。 ＊空床待機者を常時5名以上確保 ＊空床後の入所平均日数10日以内 ・費用対効果を踏まえた新規加算算定。 ・キャリア別基礎介護研修の実施。 		
②	入居者の尊厳やQOLを保ち、利用者や家族にとっても、安心・安全な生活環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切対応および虐待防止の継続的取り組み。 ・暮らしの質を保つ快適で安全な環境整備。 ・BCPに基づく感染症・災害訓練と必要備品の確保。 ・外部交流および家族参加イベントの再開による交流促進。 		

《特別養護老人ホーム 千住桜花苑》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
③	働きやすい職場環境の整備を図り、職員の採用および定着率の向上につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・3S、3M活動による業務改善と労働環境の最適化。 ・OA化した介護記録の安定運用と機能活用の拡大。 ・介護実習生の積極的な受入と丁寧な指導。 		
④	栄養価を維持しながら、おいしく、安全に食べられる食事を維持、向上する。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意向を反映し、食事の質向上とリクエストに対応。 ・視覚に配慮した彩りと、栄養価に工夫を施した加工食の提供。 ・災害・感染症など有事対応に備えた食事提供体制（委託業者との連携、備蓄、使い捨て容器等）の整備。 		
⑤	（短期入所生活介護） 安定した事業運営のため、適正収益を確保する（短期入所単体目標利用率：88%）。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月4名以上の新規利用者を獲得し、実利用65名以上を維持。 ・利用相談への積極対応と迅速な面接による利用促進。 ・2ユニット間での柔軟な受入による新規利用と利用日数の拡大。 		

【千住部門】

《デイサービスセンター千住桜花苑 一般》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のため、利用者を確認し、適正な収益（利用率目標：85%）を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者数を110名以上（一般・総合事業の合計）確保。 ・活動内容等のケアマネへの提供や、SNSを活用した情報発信。 ・新規依頼および増回依頼に迅速に対応し、「断らない姿勢」を徹底。 		
②	通所する全利用者が安全・安心・快適に過ごせるよう、環境整備と職員の資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足につながる個別、集団活動を提供。 ・虐待防止と接遇向上のための研修を実施。 ・職員の負担軽減を意識した業務改善を進める。 ・適材適所を踏まえた職員配置。 		
③	社会福祉法人として地域に信頼され、地域ニーズに応える活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受け入れと医療、福祉分野の実習生の受入れ。 ・足立社協が推進する重層的支援の一端を担い、交流の機会を作る。 		

【千住部門】

《デイサービスセンター千住桜花苑 認知》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のため、利用者を確保し、適正な収益（利用率目標：81%）を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者数を30名以上確保。 ・一般デイと連携し該当利用者を認知デイへ適切にサービス移行。 ・活動内容等のケアマネへの提供や、SNSを活用した情報発信。 		
②	通所する全利用者が安全・安心・快適に過ごせるよう、環境整備と職員の資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に特化した活動を実施。 ・困難事例は地域包括支援センターと協働して支援。 ・虐待防止と接遇向上のための研修を実施。 ・職員の負担軽減を意識した業務改善を進める。 		
③	社会福祉法人として地域に信頼され地域ニーズに貢献する活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受け入れと医療・福祉分野の実習生を受け入れる。 ・足立社協が推進する重層的支援の一端を担い、交流の機会を作る。 		

【千住部門】

《ケアマネージメントセンター千住桜花苑》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のため、利用者数を確保し併設事業所との協働を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規ケアマネの採用と育成。 ・ケアマネ全員が目標プラン数を持つ(総数311件)。 ・部門運営会議で利用者・地域ニーズを共有し、事業所全体の資質向上につなげる。 ・併設事業所への紹介者数の把握。 		
②	介護保険制度への理解を深め、法令遵守の徹底とケアマネジメントの質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・主任ケアマネ複数配置の強みを活かし、研修計画を策定。 ・プロセス確認表を運用し、業務の標準化を図る。 ・困難事例を共有し支援の質向上。 ・他事業所との事例検討会の実施。 ・業務手順を精査し DX の活用にて生産性の向上を図る。 		
③	地域の高齢者が安心して暮らし続けられるよう、行政や各サービス機関との連携を一層強める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターおよび介護サービス事業所と連携し、シームレスな支援を提供。 		

【千住部門】

《高齢者グループホーム千住さくら》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のため、適正収益を確保する（利用率目標：98%）。	<ul style="list-style-type: none"> ・空床発生後の入居を7日以内に調整。 ・入院および空床の総日数を120日以下で管理。 ・費用対効果を踏まえた加算算定。 		
②	入居者が安全に、安心した暮らしが継続できるように職員の資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応に特化した接遇を含む虐待防止研修の実施。 ・危険予知と報連相の徹底による転倒事故の減少。 ・3Sの徹底により3Mを改善し、生産性を向上。 		
③	地域ニーズに応じた地域貢献の取り組みを行っていく（SDGs）。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生やボランティアの受入。 ・職場体験の受け入れ。 ・事業所が地域に開かれた場としての取り組み（一部催し物の案内） ・地域と協働し多世代が交流マルシェの開催。 ・地域行事への積極的な参加。 		

【花畑部門】

《総務課》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	部門全体の収支状況を共有し、課題整理と改善策の検討を行い、安定した事業運営に向け、財務基盤を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、予算執行、運営状況を共有。 ・設備・備品に対して、設備保全計画を基に更新を行う。 ・修繕計画に沿った積立実施。 (目標額：1000万円/年)		
②	人材確保と職員定着を各部署と連携しながら進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークや施設掲示板の活用を中心に、紹介会社・WEB求人サイト等様々なツールを用いて積極的な採用活動を行う。 ・働きやすい職場を目指し、生産性向上委員会と連携して職員の負担軽減や勤務状況の改善を図る。 		
③	災害対応力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・BCM委員会を中心に、実地訓練を増やし、より実効性の高い内容になるようバージョンアップを図る。 ・災害備蓄品を整え災害に備える。 		

《部門特記事項》

エアコン更新(2・3F居室) 71台 8,880,300円 / 電話交換機更新 8,000,000円

令和8年度

《年間予算表》花畑部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(従来型)	40	96.0%	204,549,000			0.0%			0		0.0%		****		0
介護老人福祉施設(新型)	100	96.0%	605,775,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	20	75.0%	93,197,000			0.0%			0		0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	75.0%	46,665,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			950,186,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			592,116,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業費支出			121,756,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			128,074,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			1,236,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			19,464,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の支出			3,060,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			54,168,000			0.0%			0		0.0%		****		0
固定資産取得支出			16,894,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,231,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			2,097,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
長期貸付金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			5,352,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0			****			0		****		****		0
事業区分間繰入金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			1,844,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			1,192,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
支出合計(2)			949,484,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			702,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			272,510,416						0						
当期末支払資金残高			273,212,416						0						

《特記事項》

※ 2・3階のエアコン更新予定(71台) 8,880,300円

※ 電話交換機更新予定 8,000,000円

【花畑部門】

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(ユニット型・従来型)》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：96% (ユニット型、従来型共に) 安定した事業運営を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用待機者の常時確保。 ・年間総入院数 1,400 日以内(ユ)、540 日以内(従)を目指す。 ・取得している加算継続のため、多職種連携を図る。 		
②	中堅職員以上が長く働くことが出来、且つ新入職員が安定的に働ける職場環境の構築。[年間離職率前年比 11%未満を目指す]	<ul style="list-style-type: none"> ・「抱えない介護」を実践。利用者への安全な介護と職員の負担軽減を図るべく、福祉用具の活用と手技の統一を全体として取り組む。 		
③	②計画に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・残業時間の平均化を図るべく、階を超えて協力体制をとる。毎月の会議にて 30 時間越えの職員を把握。面談を通し、心身の確認をする。 		
④	②計画に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員の習熟具合を考慮。個別に育成計画を調整。安心して学べる環境をつくるため、本人および先輩スタッフと育成計画を共有。課長、係長、主任が介入する。 		

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(ユニット型・従来型)》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	②計画に対して	・新入職員の進捗具合をより具体的に。本人および先輩職員が、お互いに見える化しやすいよう、育成計画簿の見直し活用を推進する。		
⑥	階層別に応じた職員のスキルを高められるよう、計画立てて人材育成とケアの質の底上げを行う。	・オンラインと机上実践でのハイブリッドな研修を計画。実施。 ・ケア研究会研修受講。(指導職、多職種合同)受講より得たものをケア検討委員会にて共有し実施。		
⑦	【短期入所】 目標利用率：75% 安定した事業運営を図る。	・年 5760 日（月平均 480 日）の稼働の確保。 ・利用者満足向上を図り、付加価値を上げるため、余暇活動を“月間スケジュール”として広報していく。		
⑧	⑦計画に関して	・毎月 1 人 5 件以上、事業所等への攻めの営業。また、X を用いての広報活動実施。 ・窓口および現場における入退所時の業務の効率化、簡素化。		

【花畑部門】

《デイサービスセンターあすか 認知》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：75% 平均10名/日の来所を確保し、安定した事業運営を図る	・月～土の利用者登録が、常時10名以上になるよう確保する。 ・新規や増回の利用獲得と共に欠席者から日程変更の依頼がくるような魅力あるサービス提供の実施		
②	認知症対応型通所に必要な研修を定期的に実施。専門性を深め、利用者の特性に合わせた支援を行う	・内部研修を計画的に実施する。ケース検討会議も定例化し個別性を重視したケアに繋げる。 ・記録及び情報共有の質の向上を図る。		
③	生産性向上を目的とした業務改善を行う	・介護支援ソフトを、フル活用し、記録のデータ化を促進することで、業務効率を図る。		
④	認知症の人を介護する家族等に対するサポート力強化	・運営推進会議や家族交流会を通して、家族間のつながりや不安を口に出せる場所を設ける。 ・家族支援で必要な知識を学び深めていく。		

【荒川部門】

《総務課》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	介護報酬収益と事業所大規模改修に伴う区からの減収補填を適切に活用し、事業運営の安定化を図る。	・スタッフ会議で収支や予算執行状況を確認しながら必要事項を検討する。(人件費、光熱水費など) ・減収補填の使用状況を管理する。		
②	職員人材を確保しながら、定着率の安定を図る。(離職率5%)	・スタッフ会議にて超過勤務や有給取得状況を確認しつつ、特定の職員に負担が係っていないかを把握する。又、産業医より助言をもらいしつつ、必要に応じて業務配分の見直しを検討する。		
③	転居先施設(蔵前)の突発的に発生する設備不良、修繕に対して迅速に対応できる体制を維持する。	・修繕の要否や対応について、荒川区と協議しつつ速やかな対応に努める。		

《部門特記事項》

令和8年度

《年間予算表》荒川部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(従来型)	50	95.0%	504,342,000			0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
居宅介護支援事業			17,521,000			0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
収入合計(1)			521,863,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			360,630,000			0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
事業費支出			59,947,000			0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
事務費支出			88,082,000			0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
利用者負担軽減額			0			****		0	0	0	****		****	0	0
支払利息支出			0	0	0	****		0	0	0	****		****	0	0
その他の支出			1,260,000			0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****		0	0	0	****		****	0	0
固定資産取得支出			0	0	0	****		0	0	0	****		****	0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出			1,353,000			0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
その他の施設整備等による支出			221,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0	0	****		****	0	0
積立資産支出			3,607,000			0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0	0	****		****	0	0
拠点区分間長期借入金返済支出			1,000,000			0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****		0	0	0	****		****	0	0
拠点区分間繰入金支出			1,894,000			0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
その他の活動による支出			103,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出合計(2)			518,097,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			3,766,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			63,800,917					0	0						
当期末支払資金残高			67,566,917					0	0						

《特記事項》

- ※ 介護老人福祉施設収入には、240,156,000円（その他雑収入）を含む。
- ※ 介護老人福祉施設収入には、2,980,000円（受託事業収入）を含む。
- ※ 介護老人福祉施設収入には、6,660,000円（補助金事業収入）を含む。
- ※ 介護老人福祉施設収入には、6,820,000円（人件費積立資産取崩収入）を含む。

【荒川部門】

《荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	年間利用率95%を目標とする。 安定した事業運営、地域貢献に向けて、空床発生から入居までの期間を年間平均12日以内で行う。	・退居発生から入居までを平均12日以内で行う。又、常時3件の面接済み待機者確保に努める。		
②	年間延べ入院者日数を700日以内として利用者の安心、安定した運営を目指す。ケア（食事・排泄・認知症対応）に必要な知識と技術の習得に取り組み、質的向上を図る。	・フロアにある基礎介護の課題解決につながるよう、多職種にて基礎介護研修内容や資料を定期的に見直す。又、高齢者に多い疾患での入院分析等を通じ、対策検討しつつ入院日数減を図る。		
③	利用満足度を高めるため、生活の中の楽しみを増やしたい。	・担当職員（企画担当）を中心に取り組む。オンラインレク活動も引き続き活用する。		
④	グローバル採用職員や留学生アルバイトと共に成長しながら、利用者の生活が安定するように取り組む。	・特定技能1号介護職員、留学生アルバイトの受け入れ、教育を通じ、職員の知識や技術の向上につなげる。		

《荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	利用者の負担軽減や職員の腰痛防止に取り組み、腰痛による労働災害ゼロを目指す。	・移乗補助用具の導入、福祉機器の試行や外部研修への参加を通じ、職員の腰痛予防を図る。		
⑥	生産性向上に資する活動に取り組み、職員がいきいきと働ける職場を目指す。	・委員会活動や職員アンケートの実施、職場環境の整備等により、生産性向上に努める。		
⑦	令和9年度、施設大規模改修後のショートステイ再開に向け、準備を進める。	・法人横断委員会への参加や外部研修などを通して情報収集する。 又、令和9年度に向けて各種準備の計画を立てる。		

【荒川部門】

《グリーンハイムケアマネジメントセンター》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人の定める担当件数（管理者：20～24件、常勤：40件～上限範囲内程度）の獲得と特定事業所加算の算定を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規受入れ可能時件数を常に把握し、依頼は積極的に受け入れる。地域包括支援センター等の関係機関へ空き情報を提供していく。 ・職員体制により途絶えてしまった特定事業所加算を再算定できるよう体制を整える。 		
②	ICTを導入しサービスの質の向上、業務の効率化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランデータ連携システムやMCSなどのICTを積極的に取り入れ、機関連携によるケアマネジメントの質の向上、業務効率化を目指す。 		
③	居宅介護支援事業所としての地域貢献に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・本体施設の改修期間中につき東日暮里地区へ移転となったため、これまでの南千住に加え、東日暮里地区の地域活動も積極的に参加する。 		

【荒川部門】

《東日暮里地域包括支援センター》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	職員がそれぞれの役割や活動を理解し、業務や支援について情報共有や取り組みを行う	・ミーティングなどを通じて、他職種活動を把握しつつ、支援の情報共有や協力体制を構築する。 包括、みまもりステーション間の連携も密にし、スムーズな支援介入を行う。		
②	地域課題の抽出を行い、課題に向けた対応策を検討するとともに、地域のネットワークを生かしつつ、活動の場やグループを継続して創出していく。	・生活支援コーディネーターを中心に、自主グループ創出に向けた活動と昨年度までに創出したグループへの継続支援も行う。		
③	業務内容の把握や見直し、ケアプランデータ連携システムの推進に努めつつ、業務の効率化を図る。	・入力作業の効率化やミーティング内容、報告などの見直しを行う。 ケアプランデータ連携システムの内容把握に努め、スムーズな導入を行えるようにする。		

令和8年度

《年間予算表》 東包括

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
地域包括支援センター			78,956,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			78,956,000	0		0.0%		0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			61,879,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			749,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			13,410,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0	0	0	****	0	0		****	****		0
支払利息支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
その他の支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****	0	0		****	****		0
固定資産取得支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			245,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			69,000	0	0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
債立資産支出			720,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			210,000		0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
拠点区分間繰入金支出			0	0		****	0	0		****	****		0
その他の活動による支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
支出合計(2)			77,282,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			1,674,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
前期末支払資金残高			25,573,255										
当期末支払資金残高			27,247,255					0					

《特記事項》

※

※

【荒川部門】

《西日暮里地域包括支援センター》

〈令和8年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	地域ケアシステムの構築に寄与する取り組みを実践する。	・地域連携推進会議等を通じ、地域住民と課題についての情報共有を行いつつ、どのようなことができるのか検討していく。		
②	みまもり事業の推進に寄与する取り組みを実践する。	・みまもり事業について認知度をあげるために、不動産や薬局にも事業説明など行い、連携を深めていく。		
③	生活支援体制整備事業の推進を図る。	・地域の担い手を発掘し、1ヶ所住民主体の活動の場の立上げを支援していく。		

令和8年度

《年間予算表》 西包括

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
地域包括支援センター			73,904,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			73,904,000		0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			54,032,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			1,102,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			15,537,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0	0	0	****	0	0		****	****		0
支払利息支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
その他の支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****	0	0		****	****		0
固定資産取得支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			185,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			67,000	0	0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
積立資産支出			610,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			140,000		0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
拠点区分間繰入金支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
その他の活動による支出			17,000	0		0.0%	0	0		0.0%	****		0
支出合計(2)			71,690,000	0		0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			2,214,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
前期末支払資金残高			20,968,029					0					
当期末支払資金残高			23,182,029					0					

《特記事項》

※

※